

令和2年度第2回千葉市文化芸術振興会議議事録

市民局生活文化スポーツ部文化振興課

1 日 時

令和元年12月23日(月) 午前10時00分～

2 開催場所

千葉市義議会 議会棟3階 第3委員会室

3 出席者

(委員) 神野委員長、種谷副委員長、椎原委員、関委員、廣崎委員、河野委員、藤田委員、
ジャブリ委員、鶴田委員

(事務局) 那須生活文化スポーツ部長、小名木文化振興課長、吉野文化振興課長補佐、
川口文化振興班主査、渡邊主任主事、鈴木主任主事、樺澤主事

4 議 題

- (1) 令和2年度千葉市芸術文化振興事業補助金について
- (2) 千の葉の芸術祭について
- (3) その他

5 議事の概要

- (1) 令和2年度千葉市芸術文化振興事業補助金について
千葉市文化芸術振興事業補助金の補助事業選定にあたり講評・意見交換を行った。
- (2) 千の葉の芸術祭について
千の葉の芸術祭について意見交換を行った。

6 会議経過

< 事務局説明① >

【神野委員長】

それでは、次第にしたがいまして議題を進行していきます。千葉市としては前向きに文化芸術の施策を進めて頂きたいと思います。

1つ目の議題になりますが、令和2年度千葉市芸術文化振興事業補助金についてです。こちらの議題については非公開となっておりますので委員と事務局以外の方はご退室をお願いいたします。

初めに事務局から説明をお願い致します。

<< 議題（1）は非公開議事につき、省略 >>

<< 議題（2）から公開 >>

【神野委員長】

議事2の千の葉の芸術祭にいきたいと思います。

<事務局説明>

【神野委員長】

ここからの議題は公開になります。千の葉の芸術祭基本計画について、何かご意見がありましたら宜しくをお願いいたします。

【ジャブリ委員】

メッセから見浜園までの移動は徒歩で10分から15分となるが、その場合、タクシーの利用を考え人がいると思うが、タクシーは拾えない。パラリンピックもあるのでお体が不自由な人に徒歩で移動をお願いするのは難しいと思います。市の方でマイクロバスを無料で運行するなどが必要になるかと思えます。

【小名木課長】

オリンピック・パラリンピック期間中は組織委員会が交通については、制限をかけてしまうためタクシーがどこまで入ることができるかという問題もあります。マイクロバスについても許可が下りない場合があります。

【ジャブリ委員】

そうするとお体が不自由な人はほとんど来られる可能性がないということになるのでは。

【小名木課長】

ホテルからは多少距離は近くなるので、まだ来られる可能性はあるかと思うのですが、おっしゃる通りメッセからだと距離がありますのでお越しいただくことが難しくなることがあるかもしれません。

【神野委員長】

オリンピック自体の制約が多く、なかなか千葉市の一存で何かを決めるというのが難しいという現状があります。今後、アクセス等については、今後検討していただいて何かいい方法を探していただければと思います。

【ジャブリ委員】

メッセから見浜園までのルートのバリアフリー性はどうなっているのでしょうか。

【小名木課長】

ホテルから見浜園の入り口までは舗装道路がありますので、車椅子の方も移動可能だと思います。逆に園内の方が今後、検討が必要かと思います。

【藤田委員】

なぜメインとして写真を選んだのかを教えてください。

【神野委員長】

千葉市にはよく何もないと言われますが、本当にそうなのかというところを出発点として、既にあるものを見出していくというのは今の千葉にとって重要ではないかということが出発点です。千葉というものに関心を持って頂き、何もないと言われているものからアーティストの眼差しで抽出を行って頂き、それを市民に返していくことで自分たちの住んでいる千葉というものを見直していただくということに重点を置こうという意味で写真を選びました。

【那須部長】

千葉市美術館が収集しているもののなかに浮世絵があり、浮世絵と写真には、風景を切り取って残すということでは共通点があるというところから、第1回目の芸術祭においては、写真を取り入れていきたいということが理由としてはあります。

【藤田委員】

もう少し、美術館ともう少しコラボレーションをやっていただければと思います。

【椎原委員】

予算規模としてはどれくらいですか。

【那須部長】

議会の中で債務負担行為として設定するのですが、大体1億6千万くらいです。

【廣崎委員】

オリンピックに向けてということがあると思いますが、国際交流協会は関わってはいないのでしょうか。

【小名木課長】

無料ガイドブック等は国際交流課を通して、関わっていただくことがあるかと思います。

【廣崎委員】

通訳などのボランティアは

【小名木課長】

芸術祭ボランティアとしては、観光ボランティアの方がいらっしゃるのをそこを含め、今後検討していく予定です。

【廣崎委員】

国際色と言うのであればそこを考えた方がいいと思いました。
また、千葉市は6区あると思いますが、対象を3区にしているということは理由があるのでしょうか。

【神野委員長】

最初は全区に拠点を置いてという計画を立てたのですが、人的資源やこれまでの蓄積が千葉市の場合ゼロベースなので、今回は千葉市の中心を核にした形にするのが現実的だろうということになりました。事務局それでよろしいでしょうか。

【那須部長】

広げることは可能なのですが、周遊ということになりますと、真夏の炎天下ということもありますので、なるべく今回は集中させたということです。また、千葉市の中心地を見て頂きたいということで中央区に集中させているということです。

【廣崎委員】

そうすると対象は千葉市外の人を多く考えているということでしょうか。

【那須部長】

どちらが多いということはありません。両方とも対象にしています。

【関委員】

単純にあまり時間がないかと思うのですが、不安に思うのは広報展開ということもあって、いつぐらいに無料ガイドブックというのは、いつ頃になるのでしょうか。

【小名木課長】

現在、広報を担当する業者を募集している状況です。そこが決定してからですが、前倒しのイメージで考えています。

【神野委員長】

特設サイトもできるだけ早くにということを考えています。

【椎原委員】

資料のレガシーですが、やはり継続性の話になると思います。次年度以降どう継続していくという視点はあるのでしょうか。例えば、ロンドンオリンピックであったような地元の市民が文化芸術に親しむという機会が増えるといったことがこの文脈から読み取りづらいということがあるかと思います。

【那須部長】

千葉市としては、これは重要な問題で、1億6千万という予算をかけて1回で終わらせるということは、考えていません。どれくらいの周期でできるのか、また、写真芸術をテーマにするかということは、まだわかりませんが、市民に親しまれる芸術祭を今後も続けていきたいという気持ちは根底にあります。また、今回ワークショップでやっているななめな学校は既存事業としてずっと持っていますので、例年継続できるものとしてどう発展させていくのかは考えなくてはいけないと思います。いずれにしても、今夏の芸術祭をいかに市民の方々に受け入れて頂き、次もやりたいという気持ちを抱いていただくような芸術祭にしていかなければと考えています。

【ジャブリ委員】

見浜園と並行してペリエホールを借りて来訪者の方々が参加できるイベントを企画するようなことは難しいのでしょうか。

【小名木課長】

民間ホールとなると費用面の負担が出てきますので、予算の都合上、これ以上の支出は難しいということがあります。

【椎原委員】

SDGs という視点はどこかに入るのでしょうか。

【那須部長】

今のところは、はっきりとは記載はしていませんが、今後、考えていかななくてはならないかと思いません。

【神野委員長】

千葉市としてはそのあたりも写真の作家たちには現場に入ってもらってリサーチをしてもらっています。そのあたりをベースにし、サステナブルなストーリーを語っていくことは可能だと思いますが、これからそれを整理していくということになるかと思います。

千の葉の芸術祭に関して締めさせていただきます。またお気づきの点がありましたら事務局にご意見をいただければと思います。

それでは、一度、事務局に戻したいと思います。

< 事務局事務連絡 >

【神野委員長】

それでは、本日の議事は終了いたします。